

ビッグデータ活用による モノ造り革新

概要

- ・これからの企業経営において、ビッグデータへの関心が高まっています。
- ・とりわけ、流通や金融の分野での活用が進んでいます。しかし、ものづくりのマネジメントのなかに、ビッグデータを活用する事例はほとんどありません。
- ・マネジメント特別講座では、マツダの活用実態を紹介していただくことで、県内の多くの産業・企業の将来に大いに参考になると期待しています。

日時

2013年 8月1日(木) 19:00-20:30

場所

サテライトキャンパスひろしま

講師

佐崎幸司 (マツダ株式会社 エンジン技術グループ マネージャー)

申込方法

県立広島大学のホームページから「参加申込書」をダウンロードし所定事項を記入の上、電子メールに添付してお送りいただくか、FAXまたは郵便でお送りください。お持ちいただいたものも受け付けます。

ホームページURL : <http://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/satellite/bigdata.html>

紹介

ビッグデータについて、平成25年5月の日本経済新聞に紹介されました。

- 「ビッグデータ 変わる企業」
(上) 「勘と経験」を超える経営へ
(5月20日)
(下) 新事業創出の苗床に
(5月21日)

講師略歴

マツダ株式会社 技術本部パワートレイン技術部エンジン技術グループ マネージャー。
広島大学工学部卒業。
マツダで生産設備・技術・工程の設計・開発、SKYACTIV エンジン機械加工・組立ラインの企画・導入、能力増強、海外展開などに従事。
2011年8月から現職。

地図



- ・マツダのクルマづくりは革新的な新世代技術「SKYACTIV TECHNOLOGY」に支えられています。
- ・その技術哲学の応用の一貫として、生産技術開発、品質保証などにとどまらずビッグデータを活用した顧客視点でのモノ造りのマネジメントは他社に例を見ないものです。
- ・その現場からのプレゼンテーションをしていただきます。